

別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

令和6年3月29日

| | |
|----------|--|
| 会議の名称 | 志木市公共施設等マネジメント検討委員会（令和5年度第2回） |
| 開催日時 | 令和5年11月14日（火）9時30分～10時00分 |
| 開催場所 | 志木市役所 3階 庁議室 |
| 出席者委員 | 【検討委員会メンバー】（※進行者） 委員長：香川市長（※） 副委員長：櫻井副市長、柚木教育長 委員：村山総合行政部長、豊島総務部長、松井市民生活部長、中村福祉部長、近藤子ども・健康部長、細田都市整備部長、松永市長公室長、寺嶋会計管理者、山崎上下水道部長、北村議会事務局長、榎本監査委員事務局長兼選挙管理委員会事務局長、今野教育政策部長 （計15人） |
| 欠席者職氏名 | （計 0人） |
| 説明員職氏名 | 渋谷公共施設マネジメント推進室長 （計 1人） |
| 議 題 | 今後の公共施設マネジメントについて |
| 結 果 | 今後の公共施設マネジメントについて、 （1）令和6年度以降に予算計上する施設について、スケジュール等の共有を図った。 （2）各施設の電灯のLED化については、有利な地方債の活用期限が令和7年度までであることから、近年中に大規模改修を控えている施設を除き、未整備の施設について整備を進めていく。 （3）市民体育館の跡地については、人工地盤の耐震診断の結果、耐震性能が不足していることから、補強が必要である。今後、活用の可否も含め、検討を進めていくが、相当の費用がかかることから、活用は難しいと考える。 （4）「志木市公共施設等マネジメント戦略」の改訂及び「志木市公共施設適正配置計画～第Ⅱ期個別施設計画」の策定にかかる、将来的な施設の方向性について、関係課へのヒアリングを踏まえて調整を進める。 |
| 事務局職員職氏名 | 松田政策推進課長、渋谷公共施設マネジメント推進室長、中森公共施設マネジメント推進室副室長、小高公共施設マネジメント推進室主査 |

その他必要事項

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

委員長が会議の開会を告げる。

2 審議事項

渋谷公共施設マネジメント推進室長より資料に基づき説明をした。

○今後の公共施設マネジメントについて

（1）令和6年度以降に予算計上する施設について

令和6年度に工事着手するものは、

- ・新複合施設
- ・消防団第三分団車庫

の2施設である。

また、令和6年度に設計に着手するものは

- ・秋ヶ瀬スポーツセンター
- ・郷土資料館
- ・（仮称）志木地区児童センターである。

秋ヶ瀬スポーツセンターについては、武道館との複合化の方向で検討することとし、令和5年度に基本方針の意見公募を実施し、策定予定。当初は新複合施設オープン後に解体工事に着手する予定であったが、有利な地方債が活用できる期間が令和8年度までであることから、令和8年度中に工事に着手できるよう、スケジュールを前倒しすることとした。

郷土資料館については、埋蔵文化財保管センターと複合化することとし、令和5年度に基本方針の意見公募を実施し、策定予定。

（仮称）志木地区児童センターについては、令和5年度に基本計画の意見公募を実施し、策定予定。民間活用についても検討を進める。

メンバー：秋ヶ瀬スポーツセンターの再整備については、政策推進会議の議論の結果では運動場も含めて考えていくのではなかったか。

メンバー：交付税措置のある有利な地方債が活用できる期間が令和8年度までであるから、まずは、秋ヶ瀬スポーツセンターを先行して整備を進めていく必要

がある。

メンバー：この地方債は、これまで期間の延長がされ続けており、今回も延長される可能性がある。新複合施設の建設が控える中、これだけの施設を同時に進めるのは財政的に問題ないのか。

メンバー：財政シミュレーション上は問題ない。物価高騰は今後も続くことが見込まれることから、できる限り早めに実施した方が財政負担が少ない。地方債についても期間の延長について正式なアナウンスがないことから、令和8年度までの活用を前提としてスケジュールを組み直す必要があると思う。

メンバー：財政シミュレーションも現時点では問題ないものの、決して十分に余裕がある状況ではなく、今後の物価高騰などの状況によっては再度シミュレーションを実施することも考えられる。

メンバー：第Ⅰ期の個別施設計画で整備する施設は、耐震性能が不足している施設が中心であることから、迅速な整備が必要である。今回挙げた施設の整備で、耐震性能が不足している施設の整備が一段落する。

(2) 各施設の電灯のLED化について

公共施設におけるLEDの整備については、令和7年度まで交付税措置のある有利な地方債を活用できる。LED化が未整備の施設は、大規模改修を控える施設などを除き、令和7年度までに実施を検討してもらいたい。

(3) 公共施設の跡地活用について

市民体育館の人工地盤については、耐震診断を実施したところ、耐震性能が不足しており、活用する場合には補強が必要である。今後、活用の可否も含め検討を進めていく。

メンバー：補強するにしても相当の費用がかかることが見込まれることから、現実的には、活用はなかなか難しいと思われる。

(4) 「志木市公共施設等マネジメント戦略」の改訂及び「志木市公共施設適正配置計画～第Ⅱ期個別施設計画」の策定に係る、将来的な施設の方向性について第Ⅱ期の適正配置計画については、第Ⅰ期策定時と比べて、人口推移など

状況が変わっていることから、今後は、関係課のヒアリングを踏まえて計画案を検討していきたい。

【結論】

説明の通り、公共施設マネジメントを進めていくものとする。

3 閉会

委員長が会議の閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。